

達成度 A：達成できた（8割以上） B：ほぼ達成できた（6～7割） C：あまり達成できなかった（4～5割） D：達成できなかった（3割以下）

自 己 評 価				学校関係者評価			次年度の課題	
NO	項目	重点目標	具体的方策・指標・基準等	達成状況	達成度	成果○と課題●		意見・要望・評価
1	学校経営	①教育目標の実現に向けて、全教職員が共通理解のもとコミュニケーションを大事にした学校経営を推進する。	○教職員間の意思疎通を図りながら同僚性を活かし、「ゆとりの創出」や「一斉退校日」を実効的に推進する。 ○「面談」や「健康相談」を活用し、教職員の心身の健康維持に努める。	・ストレスチェックについて校内衛生委員会では結果を報告して、現状について情報を共有した。 ・日頃からコミュニケーションを図っている。特に人事面談の時間を有効活用している。	B	○時間外勤務の大部分を占める部活動について、週1回の休養日、シーズンオフの時期には土日のどちらかは休養日にするなど、取り組んでいくこととした。 ●時間外勤務の大幅な削減に至っていない。	・中学生は南高の校風に慣れている。伝統、南高の良さ、このままでいい。 ・働き方改革が言われている。南高の先生方は大変だと思うが、よくやっている。	・校務分掌の枠組み等について見直し、今後の学校変革期に備える。  ・理数科に関する情報発信を強化し、生徒確保に努める。 ・理数科設置校連絡協議会事務局校として、東北北海道地区理数科研究大会（山形大会）を成功させる。
		②平成30年度からの教育課程の円滑な運用と理数科の特色づくりのための準備を推進する。	○55分授業体制など教育課程の改定に伴う諸課題を検討する。(教) ○「科学者の卵養成講座」「国際科学オリンピック」等、外部で開催される講座、コンテストに積極的にチャレンジさせ、学問・研究に対する関心・意欲の高揚を図る。(理数) ○学校説明会を活用し理数科教育課程の目的や特色を中学生や保護者に伝え、積極的な出願を呼び掛ける。(理数)	・移行期間の時間割編成の方針等進んだ。(教務) ・「科学の甲子園山形県予選会」に理数科の生徒を中心とした生物科学部のメンバーが参加し、実技部門で最高得点を取るなど活躍した。(理数) ・「科学者の卵養成講座」「物理オリンピック」「化学オリンピック」へのチャレンジがあった。(理数) ・学校説明会や中学校訪問で、理数科教育課程の目的を説明し、大いに学科をアピールした。(理数)	B	○部活動の一環としてはあるが、生徒が意欲的にチャレンジすることで学問(科学)に対する関心を高めさせることができた。(理数) ○理数科のアピールはできたので、具体的出願につながることを期待できる。(理数) ●次年度は、学級減に伴う課題も併せて検討する必要がある。(教務) ●外部の講座、コンテストにチャレンジする生徒への更なる指導、サポートが必要。(理数)	・教育課程の改善、理数科の特色の発揮、55分授業の利点を活用した効果的な学習活動を進めてほしい。 ・理数の特色を強く打ち出してほしい。	
		③学校の特色や生徒の諸活動を積極的に発信すると共に、学校評価を活用し活力ある開かれた学校経営を推進する。	○学年通信の発行やブログを通して情報発信を行う。(1,2年) ○南高ブログを活用し、年間アクセス数30万件を目指す。(生) ○ボランティア活動を含めた校内の諸活動を自主的、積極的に情報発信して、より多くの人に知ってもらうように努める。(生)	・2月9日現在で学年通信26号発行した。これからも発行を重ねる。(2年) ・時機を見て部ごとにブログの更新を行っている。 ・ボランティア活動後は活動の様子を南高ブログに掲載している。	C	○時期に応じた情報提供、啓発等を行うことができた。(2年) ●HP上で情報更新に努めてきたが、タイムリーさに欠けた部分があり、学校評価において課題であると指摘された。	・アンケートで情報発信不足と指摘されているが、HPを活用して学校をもっとPRしてはどうか。	
2	学習指導	①授業第一主義を徹底すると共に、個に応じた指導により生徒一人一人の学力向上を図る。	○学習時間調査や成績の分析・面談等を通して生徒の生活実態の把握に努め、効果的な学習指導を行う。(2,1年) ○予習・復習を徹底して授業に臨ませると共に、自ら考え、学ぶ態度を涵養出来る授業を展開する。(理数)	・学年内で、クラス間に「ブレ」がない姿勢をもった上で、個に応じた指導にあたることができた。(1年) ・面談週間を利用して各クラス個人面談を実施した。さらに必要に応じて二者面談、三者面談を行った。(2年) ・一部の生徒では予習、復習ができていないものの、全体としてはまだ不十分な状況である。授業の改善で、自ら考え、学ぶ姿勢は醸成されつつある。(理数)	B	○面接週間以外でも、学習面・進路面・生活面を含めた、各担任の個に寄り添った緻密な面談や指導により学年全体の意識向上が図られた。(1年) ○生徒の実態を把握できた。(2年) ●学力下位層への手立てが後手に回ってしまった。(2年) ●部活動に多くの時間がとられる生徒には、すき間時間学習などもっと指導していく必要がある。(理数) ●授業に集中し、その中で考える習慣を定着させる。(理数)	・教員の授業研究を進めてほしい。 ・授業ファーストの徹底を。 ・思いやりのある先生方が多く、個に合わせた対応をしてくれていると思う。	・授業第一主義を徹底し、各教科科目において探究的学習に取り組む。  ・学習時間を確保するとともに、高い学習意欲を維持し、進路目標達成に向けて全力で向かわせる。
		②家庭学習時間を計画的に確保させ、主体的な学習態度を育成する。	○3年では平日270分以上、休日480分以上の家庭学習時間確保を指導する。(3年) ○2年では平日150分以上、休日270分以上の家庭学習時間確保を指導する。(2年) ○1年では平日150分以上、休日240分以上の家庭学習時間確保を指導する。(1年) ○学習習慣の確立および集中学習による学力向上を図るため「学習合宿」を行う。(理数)	・3年では9月の最終調査では平均330分となり、ほぼ目標とする学習時間を確保することができた。(3年) ・2年では4月当初の学習時間は、150分程度で例年より多く確保している。また、定期考査前も、例年より多く270分程度の学習時間を確保している。(2年) ・1年では目標とした学習時間を確保できている生徒が多く、定期考査・模試の分析からも概ね良好な成績であった。(1年) ・各学年の指導、協力のもと充実した内容にすることができた。OB講話に加え、1年生では「グループワーク」を活動に取り入れた。(理数)	B	○模試などの目標とする点を、教科毎ピンポイントで可視化し教室に掲げたことは効果的であった。(1年) ○早い段階で理科、地歴・公民への意識付けを行い、その効果が現れた。(3年) ○学年の先生方の熱心な指導のもと密度の高い学習活動が展開され、集中力を持続させ学習する経験を積ませることができた。(理数) ○「グループワーク」において協同で考え、表現する経験を積むことができた。(理数) ●学習に時間がかかっているだけで、身についた学習になっていない生徒が多い。(2年)	・丁寧に指導されていると思うが、実際部活動のため家庭学習時間の確保が大変な生徒がいるのではないかと。	
3	進路指導	①生徒の自己実現にむけた進路選択が出来るように、キャリア教育を推進する。	○総合、LHR、進路講演会、出張講義、オープンキャンパスへの参加を通してより広がりのある指導を行う。(2年) ○長期的視野で自己の在り方・生き方を考える機会と情報を与え、進路意識の高揚と、進路目標の確立に向けて具体的に指導する。(1年) ○職業講話、大学出張講義、進路講演会、OB学生講話などを実施する。(進) ○医師体験セミナー、理学療法士体験、ふれあい看護体験などの各種体験学習等に積極的に参加させる。(進) ○山形大学理学部との連携事業「高大連携実験講座」を今年も1年生を対象に継続開催する。(理数)	・総合、LHRの活用と、進路講演会、出張講義、オープンキャンパスへの参加など予定通り実施できた。(2年) ・11月14日に「3年0学期学力向上」プロジェクトを立ち上げ、学年側、生徒側から様々なアクションを起こした。2月9日現在で通信を23号まで発行した。(2年) ・OB学生講話(6/14)、大学出張講義(9/13)、職業講話(9/20)、進路講演会(6回)、全て実施できた。医師体験セミナー(3名)、理学療法士体験(4名)、作業療法士体験(4名)、ふれあい看護体験(3名)に参加した。(進路) ・今年も化学・物理・生物の3分野で開講していただき、事象に対する見方、考え方など科学的思考の基本を学んだ。(理数)	A	○時期に応じて進路学習の機会が持たされた。(2年) ○各自のキャリア形成に、多面的に寄与することが出来た。(進路) ○事後アンケートにも表れていたが、自然科学の考え方に感銘を受けた生徒が多く、興味・関心を高めるのに寄与した。(理数) ○理数科活動の記録冊子(次年度より)は、生徒個人が総括することでそれが次の活動に生かされることが期待される。(理数)	・それぞれの自己実現に向けてよくやっていると思う。南高の良さを実感している。 ・大学へ進学した後、どのように生活するかが大切。将来の見通しが動機づけのエネルギーになる。	・高大接続改革に備え、研究を深め、必要に応じて新しいシステムを取り入れていく。

		<p>②「山形の未来をひらく教育推進事業」を活用し、高い進路目標を掲げ、国公立大学及び難関大学への挑戦意欲を喚起する。</p>	<p>○国公立大学合格者数170名以上、医学部医学科、難関大30名以上、センター試験平均点630点/900点を達成させる。(3年) ○添削指導による上位生徒の育成を行う。(2年) ○現職教員セミナー参加、進路研修会、先進校視察、教科会研修による問題分析や経験交流などにより、指導力の向上を期する。(進) ○筑波研究学園都市研修を1年生対象に行う。(理数)</p>	<p>・駿台予備学校・河合塾の現職教員セミナー派遣研修(5名)、先進校視察(2名)、他、進路研修会、教科指導研修等多数実施。(進路) ・上位者対策として添削指導を実施しているが、提出する生徒がまだ少ない。(2年) ・生徒一人ひとりが目的意識をもち、各施設の見学に臨んだ。1年生にとってはかなり難解な説明が多かったが、しっかり耳を傾け理解に努めた。(理数)</p>	A	<p>○センター試験の平均点は591.5点と目標には届かなかったが、昨年並みを維持した。(3年) ○国公立大学医学部医学科受験者4名、難関大受験者25名を数えた。(進路) ○自然科学に対する関心が高まり、研究することの意義や果たす役割など基本的な概念を固めることができた。(理数) ●生徒によっては許容量を超えてしまい、上位添削についていけない者が出た。高い意識を持って臨む生徒がなかなか増えない。(2年)</p>		<p>・引き続き、高い進路目標を掲げ、国公立大学及び難関大学への挑戦する意欲を喚起する。</p>
4	生徒指導	<p>①本校生としての自覚と誇りを育み、高い規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。</p>	<p>○面接週間やホームルームを活用し、生徒理解と実態把握に努める。(2年) ○「我等の心得」に則り、自ら考え、南高生としての自覚と誇りをもち、責任ある行動がとれるよう指導する。(1年) ○時間や期限を守り、挨拶や身だしなみがしっかりできる基本的な生活習慣の確立に努める。(1年) ○南高生としての「誇り」を育成しながら「我等の心得」の意味を理解・意識した生活を送れるよう、自主的で自律した活動を奨励する。(生) ○社会のルールと交通ルールを守り、自他の命を大切にすることを育てる。(生) ○非行行為の皆無、いじめや盗難のない安心・安全な学校環境づくりのために、ルール・約束事を守る姿勢とより良い人間関係の育成を図る。(生)</p>	<p>・面談週間を中心に各クラス個人面談を実施し、生徒理解に努めた。(2年) ・LHRでのクラス活動や学年行事を、生徒主体で行った。(2年) ・社会に貢献できる逞しいリーダーとなるべく、自主的・自律的行動を促し、学校祭等を生徒会主体で取り組んだ。(生徒) ・盗難、交通事故件数が減少した事は評価できるが、今後も0件を目指す。(生徒) ・遅刻人数が昨年度より35%減となっている。(生徒) ・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応を全職員が共通認識で取り組んでいたが、対応へのフロー等確認が必要。(生徒)</p>	B	<p>○生徒の自主的な活動を促すことができた。(2年) ○全職員との連携充実を図ったことが規範意識向上に繋がった。南高祭の成功はチーム意識を向上させ「誇り」を高めた。(生徒) ●生徒会、各種委員会での活動など、生徒会報等のより充実を図る。(生徒)</p>	<p>・今は自転車も死亡事故の加害者にもなり得るので注意を。</p>	<p>・「山形南高校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等について学校全体で取り組む。</p>
		<p>②南東北総体での活躍をめざし各部の強化を図ると共に、高校生活動等に主体的に参加する態度を育成し、運動部、文化部の更なる充実を努める。</p>	<p>○部活動の振興。全国大会出場30名以上を目指す。(生) ○45年ぶりの地元、全国高校総体へ式典や競技運営補助員等積極的に取り組む。(生) ○スポーツOB会文化部OB会との連携。(生) ○高いレベルでの文武両道を目指し教師と生徒が一枚岩となって取り組む。(生)</p>	<p>・全国大会30名以上の目標を達成できなかったが、地元高校総体へ大会運営、補助員等220名が参加し、大会を「ささえる」活動に取り組めた。文化部も全国高文祭、俳句甲子園、みちのく写真コンテスト等幅広い大会へ出場し「部活動は学校を元気にする」素晴らしい活躍であった。(生徒)</p>	A	<p>○部活動の活躍が学校を元気にした。(生徒) ○熱心な各部顧問の指導の下、数多くの生徒が活躍している。(生徒)</p>	<p>・部活動も学習も満足行くまでやれる環境であるが、時には厳しく対応することも必要。 ・部活動を人間形成を含めたものと捉えている。</p>	<p>・部活動や生徒会活動を推進し、学校の活力としていく。</p>
		<p>③読書活動やボランティア活動を通して、生徒の自己理解と自己確立、思いやりの心等を醸成する。</p>	<p>○部活動やクラスなどの学校全体でボランティア活動に取り組むよう環境を整備する。(生) ○地域や社会の中で交流する場を積極的に設け、相手を敬う心、優しい心を身につけさせていく。(生) ○読書感想文・感想画コンクール、演劇教室を通して豊かな感性を育てる。(図)</p>	<p>・復興支援を実施し、学校祭での報告、支援団詰販売等生徒全体の取組みへ還元できた。地元地域の除雪ボランティア活動にも生徒会執行部やクラス、部活動単位で取り組み、地域住民より感謝の声が多く寄せられた。大和証券より助成金を頂き、新たな取組みを計画している。(生徒) ・読書感想画コンクール審査で課題図書最優秀、自由図書優良の2名の入賞者が出た。(図書)</p>	B	<p>○演劇鑑賞を通して自らを見つめ、深く考える機会を得た。(図書) ○部活動単位やクラス単位での積極的なボランティア活動は高く評価できる。 ○復興支援だけでなく、地域に目を向け地元密着型の活動ができた。(生徒) ●感想文の内容に改善の余地がある。図書の選択に関して事前の手立てが必要である。(図書)</p>	<p>・生徒達のさわやかな挨拶に感動。 ・南高祭では来校者が多く、地域から大きな期待が寄せられている。</p>	<p>・ボランティア活動については、地域との連携を計りながら、さらに充実した内容になるように取り組む。</p>
5	学習環境	<p>①校舎内外の清掃・美化を徹底し、学習環境の整備と施設設備の安全管理に努める。</p>	<p>○ゴミを持ち込まない、持ち帰る指導を徹底し、学習に集中できる環境に努める。(2年) ○毎日の清掃指導と点検、清掃強調週間による徹底を図る。(保) ○HR教室・廊下の整理整頓の励行に努める。(保) ○学校事故の皆無、安全点検の徹底を図る。(保) ○老朽化している設備・物品をできるだけ更新し、本校の教育活動に支障がでないようにする。(総)</p>	<p>・生徒自身でゴミの持ち帰りや環境整備に努められるよう、生徒会役員を中心に活動させた。(2年) ・各学年での指導により、HR教室廊下は非常に綺麗な状態を保つことができた。(保健) ・老朽化している設備や物品に関しては、予算の範囲内で更新するように努力した。(総務)</p>	B	<p>○クラスだけでなく、部活動単位で、生徒たち自身が環境整備に努めた。(2年) ○限られた予算の範囲で工夫して更新に努めた。(総務) ○保健委員会の円滑な運営によりきめ細かな呼びかけは効果が大きかった。(保健) ○トイレ清掃の啓蒙によりきめ細やかにできるようになった。(保健) ●行事の後や、クラスによっては、環境整備が行き届かない部分があった。(2年)</p>	<p>・学校周辺のフェンスの内側の美観を。 ・生徒の視線や地域の視線に立った目配りを願う。 ・市内の中学校は空調設備が整備されたが、県立高校間では差が生じている。</p>	<p>・毎日の清掃活動、部活動ボランティアによる清掃等を通して、生徒の勤労意欲を育てる。</p>
		<p>②教職員の健康面での自己管理と生徒の心身の健康保持に努める。</p>	<p>○生徒の出席率99% 40日以上、教職員の要精検受診率90%以上を目指す。(保)</p>	<p>・生徒出席率平均98.5%、99%以上27日。職員要精検受診率職員100%。インフルエンザでの学級閉鎖が3クラス発生した。(保健)</p>	B	<p>○教育相談委員会の活性化(学年・分掌コーディネーターの役割の明確化・外部カウンセラーの利活用)(保健) ●日常での更なる生徒理解の充実(保健)</p>	<p>・子供に合わせた指導をしてくれている。</p>	<p>・心と行動の小さな変化に気づけるように、全職員での生徒理解に努める。</p>
		<p>③情報機器や通信機器などによる他者との関わり方や危険防止等への対応を図る。</p>	<p>○個人用USBメモリーの正しい利用を推進する。(総) ○南高ブログ、南高ホームページの管理を適切に行う。(総)</p>	<p>・個人用USBメモリーの使用については、特に支障なく利用している。ほぼ適切に、かつ定期的に更新できた。(総務)</p>	B	<p>●過去のブログに掲載されている写真に関しての削除要求があった。個人情報に対する時代の変化もあり、今後は、より注意を払い掲載するように心掛ける。(総務)</p>	<p>・ICTの活用など学校の教育機器の充実が、近い将来の教育には不可欠になると思われる。</p>	<p>・一斉メールシステムの有効活用を努める。</p>